

数 学

正 答 例

- 1
- ① 6 ② 18
- ③ $-5b$ ④ $2a + b - 4$
- ⑤ $\sqrt{3} - 1$ ⑥ 7
- ⑦ $\frac{2}{3}$ ⑧ $9\sqrt{3}\pi$ cm³
- ⑨ ⁽⁷⁾ $\frac{5}{36}$ ⑩ ⁽¹⁾ $\frac{1}{4}$

2

劇の発表時間を x 分間、合唱の発表時間を y 分間として、 x, y を求める連立方程式をつくると、

$$\begin{cases} x = 1.5y & \dots\dots\dots (1) \\ 2x + 4y + 4 \times 5 = 90 & \dots\dots\dots (2) \end{cases}$$

(2)から、

$$2x + 4y = 70 \quad \dots\dots\dots (3)$$

(1)を(3)に代入すると、

$$\begin{aligned} 3y + 4y &= 70 \\ 7y &= 70 \\ y &= 10 \end{aligned}$$

これを(1)に代入すると、 $x = 15$

(答) 劇 15 (分間) , 合唱 10 (分間)

- 3
- ① ⁽⁷⁾ 300 秒後 ① ⁽¹⁾ 3 m
- ② 600 m

4

① 5 ② 91

③ (説明)
 もとの3けたの正の整数の百の位の数を a 、十の位の数を b 、一の位の数を c とすると、もとの整数は、
 $100a + 10b + c \dots\dots\dots (1)$
 と表される。

また、仮定から、 n を整数とすると、
 $2a + 10b + c = 7n \dots\dots\dots (2)$
 と表すことができる。(2)から、
 $10b + c = 7n - 2a \dots\dots\dots (3)$
 このとき、(1)、(3)から、
 $100a + 10b + c = 100a + 7n - 2a$
 $= 98a + 7n$
 $= 7(14a + n)$
 となる。
 $14a + n$ は整数だから、もとの整数は7の倍数である。

5

① (証明)
 $\triangle ABC$ と $\triangle GHO$ において、
 $AC \parallel HE$ で、錯角は等しいから、
 $\angle BAC = \angle HGO \dots\dots\dots (1)$
 次に、線分 AB は円 O の直径だから、
 $\angle ACB = 90^\circ \dots\dots\dots (2)$
 また、(2)と仮定から $\triangle ACD$ は直角二等辺三角形なので、
 $\angle CAD = 45^\circ \dots\dots\dots (3)$
 $AC \parallel HE$ で、錯角は等しいから、
 $\angle CAD = \angle AEH \dots\dots\dots (4)$
 (3)、(4)から、 $\angle AEH = 45^\circ \dots\dots\dots (5)$
 1つの弧に対する中心角の大きさは、その弧に対する円周角の大きさの2倍なので、(5)から、
 $\angle AOH = 2\angle AEH = 90^\circ \dots\dots\dots (6)$
 (6)から、 $\angle GOH = 90^\circ \dots\dots\dots (7)$
 (2)、(7)から、
 $\angle ACB = \angle GOH \dots\dots\dots (8)$
 (1)、(8)から、2組の角がそれぞれ等しいので、
 $\triangle ABC \sim \triangle GHO$

- ② ⁽⁷⁾ $\sqrt{10}$ cm ② ⁽¹⁾ $\frac{\sqrt{10}}{3}$ cm ② ⁽⁷⁾ 2
- ② ⁽²⁾ $\frac{8}{3}$ cm ② ⁽⁷⁾ $\frac{16}{3}$ cm²